

シンポジウム概要 (敬称略)

実行委員会

1	テーマ	「劇場技術の運用と舞台技術者が担う役割」
	出席者	大野 晃(神奈川県民ホール)
		小川富市((株)パシフィックアートセンター)
		勝又伸夫((株)総合舞台サービス)
		真野幸明(愛知県舞台運営事業協同組合)
進行	渡邊伸男((株)共立)	
2	開催日時	11月1日(火) 13:30 - 15:45
	会場	東京芸術劇場 中会議室
	テーマ	「JATETの新しい取り組み:公共施設特別委員会」
	出席者	小野隆浩(JATET公共施設特別委員会委員、(財)びわ湖ホール)
		草加叔也(JATET公共施設特別委員会委員、劇場コンサルタント)
桑谷哲男(JATET公共施設特別委員会委員、(財)可児市文化振興財団)		
佐藤壽晃(JATET照明部会委員、照明家)		
進行	森 健輔(JATET教育研修部会部会長、森平舞台機構(株))	
内容	JATETは設立当初から多くの調査研究を行っており、それらの成果は様々な形で発行され広く活用されている。しかし施設側からの要求をJATETとして受け止めて活動する場が曖昧であった。今年度、公共施設のニーズをオンラインでJATETにつなぎ共同で調査研究を推進すべく、賛助特別会員(公共施設)を基幹メンバーとする「公共施設特別委員会」が設置された。 この委員会の活動によりJATETが新しい段階に進むことが期待されている。このシンポジウムでは公共施設特別委員会委員にJATET会員を交えて現在の問題点や期待されることなどを話し合い、今後の委員会活動発展のきっかけとしたい。	
開催日時	11月1日(火) 16:00 - 17:30	
会場	東京芸術劇場 中会議室	
3	テーマ	「日本の木造劇場空間を再考する-現代の劇場空間づくりに継承すべき課題- [担当:建築部会]
	出席者	本杉省三(JATET理事、技術委員会委員長、日本大学)
		山崎泰孝(JATET建築部会委員、建築家、AZ環境計画研究所)
	進行	勝又英明(JATET理事、建築部会部会長、武蔵工業大学)
	内容	日本の舞台芸術は、やわらかい木造建築の中で育った。建築と外部空間の関係は、日本建築特有の「自在性」と空間の「透過性」で、自然の光や音などが舞台空間に影響を与え、日本独特の芸能空間を育てた。舞台と客席の関係も額縁のようなもので区切られるのではなく、あいまいでやわらかな関係が特徴であった。ここでもう一度、木造劇場による日本独特の芸能空間を考え直し、今後の日本の舞台芸術を考える上でのきっかけとしたい。 ・趣旨説明、司会:勝又英明 ・「日本の伝統的芸能空間の変遷」 本杉省三 ・「日本特有の木造劇場の特性」 山崎泰孝 ・ディスカッション
開催日時	11月2日(水) 09:30 - 10:45	
会場	東京芸術劇場 中会議室	